

# 地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和5年2月14日)

[件名]

- 1月24日からの大雪による被害状況等について  
(危機対策・情報課) … 2
  
- 島根原子力発電所の安全対策等の状況について (第11報)  
(原子力安全対策課) … 3
  
- 消防団の魅力発信動画の公開について  
(消防防災課) … 4
  
- 令和4年中の火災発生状況及び救急救助活動状況について  
(消防防災課) … 5

## 危機管理局

## 1月24日からの大雪による被害状況等について

令和5年2月14日  
危機対策・情報課

1月24日からの大雪による被害状況等について報告します。


### 1 気象状況・県の対応

- (1) 1/24～25にかけての降雪
- ・県内にこの冬一番の寒気が流れ込んで強い冬型の気圧配置となり、西部平地、山間部を中心に大雪となった。(県内全市町村に大雪警報が発表された。)
  - ・県は、災害対策本部を設置して対応(1/24 22:50～1/25 16:20)。智頭町に災害救助法を適用した。
- (2) 1/27～31にかけての降雪
- ・冬型の気圧配置の強まりにより、東部平地、山間部を中心に大雪となった。(境港市、日吉津村、日野郡3町を除く14市町に大雪警報が発表された。)
  - ・県は、災害対策本部を設置して対応(1/28 10:00～1/30 15:00)

【県内アメダス観測点の最大積雪深】

地点名	1/24～25	1/27～31
境港市境	30 cm	36 cm
米子市米子	39 cm	44 cm
倉吉市倉吉	23 cm	36 cm
鳥取市鳥取	28 cm	38 cm
大山町大山	167 cm	209 cm
智頭町智頭	64 cm	86 cm

### 2 被害の状況

被害種別	1/24～25	1/27～31
人的	—	重傷1名(倒木除去作業中に骨折)、軽傷1名(除雪作業中に転倒)
住家・非住家	〔住家〕一部損壊1棟(トタン屋根が強風で飛ばされたもの)、床下浸水3棟(付近の用水路が雪で溢れたもの)	〔住家〕一部破損1棟(雪で玄関のひさしが落下) 〔非住家〕全壊3棟、半壊3棟(雪により物置や廃屋等が倒壊)
停電	高圧線の断線等により6市町7地域約6,090戸で停電	倒木等により11市町25地域・約19,490戸で停電
水道(断水)	—	・江府町で倒木の電線断線による取水ポンプが停止し、配水池が枯渇し断水。2/2断水解消。 ・若桜町からの要請により、孤立集落への断水対応のため、県が給水支援を実施。
農林水産業	白ねぎ等の葉折れ、ハウスの倒壊(78棟)、牛舎の倒壊(14件)など県全域で発生。被害金額 2.5億円(調査中・2月8日現在 判明分のみ)	
道路規制	積雪や視界不良により米子道、山陰道、鳥取道、国道180、181、482号など幹線道路が全面通行止	倒木や電柱倒れ等により県管理道路17路線で全面通行止や片側交互通行
その他	<b>車両の滞留</b> ：智頭町国道373号(智頭町福原)において車両滞留が発生。 ※24日19時頃から滞留し、滞留車両は最大87台(25日2時頃滞留解消) ※地区住民が滞留車両ドライバーに食料やトイレ提供などを支援(1/26感謝状贈呈)。 ※多数の者が生命又は身体に危害を受け又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としていることから、智頭町に災害救助法を適用。	<b>孤立集落</b> ：倒木等による道路閉鎖が各地で発生し、鳥取市・智頭町・若桜町・八頭町の8地域で孤立集落が発生(436世帯941人)。 

倒木・電柱による交通障害(鳥取市佐治町)

## 島根原子力発電所の安全対策等の状況について（第11報）

令和5年2月14日

原子力安全対策課

島根原子力発電所2号機及び3号機の原子力規制委員会による審査状況は次のとおりです（前回報告はいずれも令和5年1月20日の常任委員会です）。

### 1 島根原子力発電所2号機

令和3年9月15日発電用原子炉設置変更許可。

#### (1) 審査

##### ア 設計及び工事の計画認可申請の審査

平成25年12月25日申請。

2月7日に審査会合（6回目）が開かれ、設置変更許可の審査において詳細設計（設計及び工事の計画）の審査で確認するとした防波壁や取水槽、制震装置を設置したクレーンの基準地震動に対する健全性について説明がなされた。原子力規制委員会から異論は出なかった。

##### イ 保安規定変更認可申請の審査

平成25年12月25日申請。

中国電力は1月31日に補正書を原子力規制委員会へ提出した。令和3年9月15日に取得した原子炉設置変更許可の内容（火山、自然災害、火災、有毒ガス、重大事故等に対応するための体制や手順書の整備に関する事項等）の反映並びに安全文化の育成及び維持の体制見直しに伴う変更である。

#### (2) 安全対策工事（前回報告から変化なし）

中国電力は、工事完了予定時期を「令和5年11月」とし、2号機と3号機の安全対策費が6,800億円になる見込みを公表している。現在は防波壁の補強工事や津波漂流物対策工事、アクセスルートの改良工事等を行っている。

#### (3) 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）の審査

平成28年7月4日申請。

1月26日及び27日に原子力規制委員会が特定重大事故等対処施設に係る現地調査を行った。原子力規制委員会の杉山委員は、「今回の現地調査で追加の指摘はないとの認識。今回の調査結果を審査に活用する。」との所感を述べた。

### 2 島根原子力発電所3号機（前回報告から変化なし）

平成30年8月10日申請。

令和4年12月13日に3回目の審査会合が開催された。

## 消防団の魅力発信動画の公開について

令和5年2月14日  
消 防 防 災 課

消防団は地域防災力の中核を担う組織として求められる役割が多様化していますが、団員数の減少や高齢化が進行する中、消防団の機能を維持していくため、鳥取県では、女性や若者に対する加入促進事業を実施するなど、消防団の充実強化に向けた取組を行っています。

この度、より一層の消防団加入促進を図るため、市町村や消防局の協力も得て、消防団の活動内容や魅力を紹介する動画を2本作成し、令和5年2月2日（木）に「とっとり動画ちゃんねる」（鳥取県公式YouTubeチャンネル）に公開しました。

### 1 内容

- 消防団の魅力発信動画「CHALLENGE 消防団 ～消防団の魅力編～」(約10分)

消防団員へのインタビューや活動の様子を紹介し、地域で活躍する消防団の魅力伝える。

- 消防団の魅力発信動画「CHALLENGE 消防団 ～実出動編～」(約8分)

実際の災害を想定した訓練の様子を紹介し、消防団がどのような活動をするのか知っていただく。

(消防団の魅力編)



(実出動編)



### 2 活用方法

今後、市町村や消防団において、防災に関する訓練・研修会や成人式等各地域のイベント等の場で本動画を上映するなど積極的に活用してもらい、消防団加入促進につなげます。

### 3 公開先について

「とっとり動画ちゃんねる」（鳥取県公式YouTubeチャンネル）

URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/tottoridougachannel/>

※「とっとり動画ちゃんねる 消防団員募集中」で検索してください。

## 令和4年中の火災発生状況及び救急救助活動状況について

令和5年2月14日  
消 防 防 災 課

令和4年中の火災発生・救急救助活動の状況は次のとおりでした。

なお、火災発生及び救急救助の件数については速報値であり、今後修正される場合があります。

### 1 火災発生状況

#### (1) 火災発生件数

- ・出火件数 R3：186件 ⇒ R4：193件（前年比＋7件、約4%増加）
- ・死者数 R3：10名 ⇒ R4：15名（前年比＋5名、50%増加）
- ・負傷者数 R3：32名 ⇒ R4：35名（前年比＋3名、約10%増加）

※出火件数は、前年比で7件の増加となったが、出火件数は近年200件程度で推移しており、例年並みの数値となった。

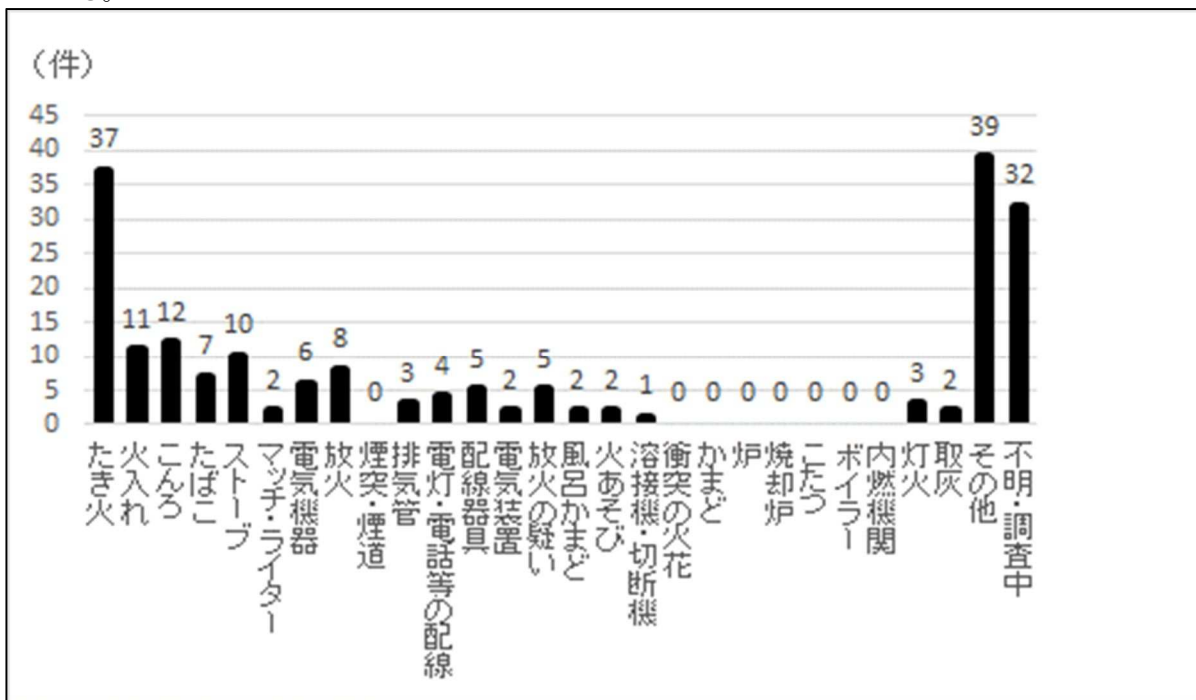
※死者数は、前年比で5名の増加となり、平成20年以降で最多となった。

	出 火 件 数							死 傷 者 数	
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者
1月	15	15						2	5
2月	8	5		1			2	1	4
3月	21	8		1			12	2	3
4月	24	9	3	1			11	3	2
5月	31	6	2	3	1		19	1	2
6月	21	9		3			9	4	4
7月	15	9		2	1		3		4
8月	16	7		2			7		
9月	5	2		1			2		1
10月	10	8					2		2
11月	9	5		1			3	1	3
12月	18	12		2			4	1	5
<b>合計</b>	<b>193</b>	<b>95</b>	<b>5</b>	<b>17</b>	<b>2</b>		<b>74</b>	<b>15</b>	<b>35</b>
令和3年	186	96	7	22			61	10	32
令和2年	177	76	8	16	1		76	8	20
令和元年	219	115	6	19	2		77	10	27
平成30年	223	100	9	17			97	6	38
平成29年	182	87	6	19	1		69	10	26

※「その他」とは、建物、林野、車両、船舶、航空機以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、軌道敷、電柱類等の火災）である。

## (2) 出火原因別火災件数

出火原因別では、たき火（37件、約19%）の割合が全国割合（令和3年約8%）よりも著しく高くなっている。



※「その他」とは、薪、枯草立木類、野積みのごみ等が焼損した火災である。

## 2 救急救助活動状況

### (1) 救急活動状況

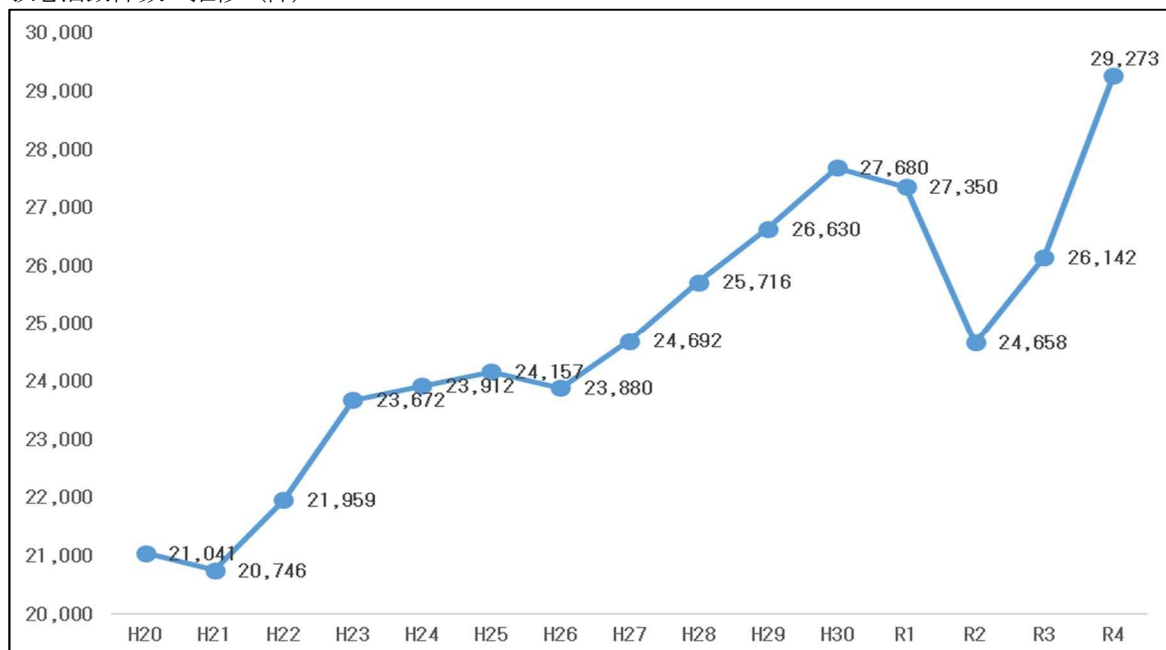
- ・件数 R3：26,142件 ⇒ R4：29,273件（前年比+3,131件、約12%の増加）
- ・搬送人員 R3：24,687名 ⇒ R4：27,635名（前年比+2,948名、約12%の増加）

※救急活動件数は、令和元年に「とっとりおとな救急ダイヤル（#7119）」開始等の影響で減少に転じ、令和2年に大幅に減少したが、令和3年以降に再び増加に転じ、令和4年は過去最多となった。

※救急活動の内容を見ると、一般負傷及び急病による活動件数が大きく増加している。

- 一般負傷 R3：3,861件 ⇒ R4：4,498件（前年比 +637件、約16%の増加）
- 急病 R3：17,296件 ⇒ R4：19,630件（前年比+2,334件、約13%の増加）

#### ア 救急活動件数の推移（件）





イ 救急活動状況 (件) ※上段 ( ) 内は令和3年数値

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
合 計	(2,327)	(1,921)	(2,039)	(1,972)	(1,987)	(2,038)	(2,370)	(2,312)	(2,087)	(2,342)	(2,234)	(2,513)	(26,142)
	2,449	2,261	2,293	2,220	2,149	2,183	2,615	2,861	2,299	2,543	2,459	2,941	29,273
火 災	12	7	15	12	7	15	12	8	2	3	7	15	115
自 然 災 害	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	6
水 難	2	3	2	1	2	2	8	5	6	3	2	0	36
交 通 事 故	86	95	93	110	123	114	126	120	105	120	136	129	1,357
労 働 災 害	14	17	20	20	15	27	29	31	29	22	20	28	272
運 動 競 技	1	1	5	8	23	19	29	16	26	22	13	5	168
一 般 負 傷	378	406	355	369	340	325	345	389	338	432	384	437	4,498
加 害	6	2	0	6	3	3	3	1	5	6	3	6	44
自 損 行 為	19	17	9	17	17	5	29	19	16	16	17	12	193
急 病	1,686	1,469	1,532	1,390	1,391	1,438	1,787	2,012	1,550	1,684	1,651	2,040	19,630
そ の 他	226	228	253	269	208	214	227	242	211	216	214	259	2,767
転 院 搬 送	5	5	2	4	5	6	4	8	1	5	2	4	51
医 師 搬 送	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
資 機 材 等 輸 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	14	9	4	14	15	15	16	10	8	14	10	6	135

ウ 搬送人員 (人) ※上段 ( ) 内は令和3年数値

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
合 計	(2,177)	(1,806)	(1,933)	(1,846)	(1,882)	(1,926)	(2,235)	(2,187)	(1,990)	(2,228)	(2,120)	(2,357)	(24,687)
	2,312	2,121	2,154	2,095	2,031	2,080	2,460	2,699	2,179	2,407	2,342	2,755	27,635
火 災	5	4	3	2	2	4	4	0	0	2	3	5	34
自 然 災 害	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	6
水 難	2	2	2	1	1	1	4	0	2	1	1	0	17
交 通 事 故	79	90	91	106	121	113	124	124	94	117	133	119	1,311
労 働 災 害	12	17	20	20	15	27	29	31	29	19	20	28	267
運 動 競 技	1	1	4	8	22	19	29	16	26	21	13	4	164
一 般 負 傷	376	397	338	355	329	320	334	372	329	419	367	428	4,364
加 害	6	2	0	5	3	3	2	1	2	4	3	4	35
自 損 行 為	13	8	5	14	8	5	18	13	10	8	13	10	125
急 病	1,594	1,373	1,436	1,319	1,323	1,373	1,690	1,905	1,475	1,601	1,574	1,903	18,566
そ の 他	223	225	252	264	207	214	226	237	210	213	214	254	2,739
転 院 搬 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 師 搬 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資 機 材 等 輸 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	7

(2) 救助活動状況

・救助出動件数 R3: 346件 ⇒ R4: 347件 (前年比+ 1件、約1%増加)

・救助人員 R3: 217名 ⇒ R4: 237名 (前年比+20名、約9%増加)

※交通事故による救助人員数が大きく増加している。

R3: 88名 ⇒ R4: 100名 (前年比+12名、約14%増加)

ア 救助出動件数 (件) ※上段 ( ) 内は令和3年数値

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
合 計	(22)	(31)	(22)	(20)	(27)	(32)	(39)	(37)	(27)	(33)	(25)	(31)	(346)
	17	36	24	27	37	24	41	32	29	27	25	28	347
火 災	3	2	3	4	3	3	4	3	0	1	0	3	29
交 通 事 故	9	16	12	12	17	9	18	10	13	9	14	14	153
水 難 事 故	1	2	2	0	2	2	7	3	3	2	1	0	25
風 水 害 等 自 然 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機 械 に よ る 事 故	1	1	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	8
建 物 等 に よ る 事 故	1	4	0	3	6	4	6	5	0	0	2	6	37
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破 損 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 事 故	2	11	6	8	7	6	6	10	12	15	8	4	95

イ 救助人員 (人) ※上段 ( ) 内は令和3年数値

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
合 計	(11)	(15)	(11)	(12)	(16)	(17)	(33)	(25)	(20)	(18)	(18)	(21)	(217)
	13	27	18	19	26	15	24	14	25	20	19	17	237
火 災	1	1	1	2	1	2	2	0	0	0	0	1	11
交 通 事 故	9	12	11	9	13	6	11	2	8	3	11	5	100
水 難 事 故	0	2	1	0	2	1	4	2	5	2	1	0	20
風 水 害 等 自 然 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機 械 に よ る 事 故	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4
建 物 等 に よ る 事 故	1	3	0	2	4	3	3	3	0	0	2	5	26
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破 損 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 事 故	2	9	5	6	5	3	4	6	11	15	5	5	76